

職業関連科目

授業科目名	授業題目	単位数	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日 講時
キャリアデザイン講座	キャリア・イメージを作る	2	猪股 歳之	6	木曜3限
インターンシップ	インターンシップ(就業・ボランティア体験)	2	土屋 育子	5,6	集中講義

科目名：キャリアデザイン講座

曜日・講時：木曜 3 限

semester：6 単位数：2

担当教員：猪股 歳之

コード：LB64302, 科目ナンバリング：LHM-OAR901J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：キャリア・イメージを作る

2・授業の目的と概要：この授業では、文学部学生が、日本でのキャリア形成や労働法制といった基本事項について理解を深めるとともに、実際の「働く」現場のあり様について具体的なイメージを持ち、自らの将来のキャリアを主体的にプランニングしていけるよう、キャリア・社会連携支援センターと共同して実践的な教育指導を行います。取得単位は学部専門教育科目として卒業単位にカウントされます（学生便覧で確認のこと）。

3. 学習の到達目標：職業生活についての具体的なイメージを得て、自らのキャリアについて主体的に構想していけるようになる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. オリエンテーション
2. キャリア形成の基礎知識(1)
3. キャリア形成の基礎知識(2)
4. ビジネス全般について(1)
5. ビジネス全般について(2)
6. ビジネス全般について(3)
7. 公務員
8. 労働法
9. 二十歳のハローワーク（様々な職種で活躍する先輩等による就職講演会）
10. 業界・仕事研究セミナー(1)
11. 業界・仕事研究セミナー(2)
12. 業界・仕事研究セミナー(3)
13. 自己分析と就職活動(1)
14. 自己分析と就職活動(2)
15. まとめ

5. 成績評価方法：授業と指定されたセミナー等への参加およびその報告の提出（100％）。

6. 教科書および参考書：特になし。必要な資料は授業時に配付する。

7. 授業時間外学習：授業中に指示された課題の準備。日常的にニュースやインターネット等を通じて経済情報に目配りすること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

○

9. その他：

主として実践的教育から構成される実務・実践的授業

科目名：インターンシップ

曜日・講時：集中講義

セメスター：5,6 単位数：2

担当教員：土屋 育子

コード：LB98827, 科目ナンバリング：LHM-0AR902J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：インターンシップ（就業・ボランティア体験）

2・授業の目的と概要： 実質 10 日間以上（60 時間以上）にわたる企業等での就業体験またはボランティア体験について、2 単位を授業単位として認める。大まかな流れは以下の通りである。

(1) 4 月 履修を希望する学生は、ガイダンスに出席する。

(2) 4 月～7 月 履修学生は、学部が提供する受入企業等の情報をもとに、あるいはみずから情報を収集して、各自インターンシップに応募し、受入内諾書をください教務係に提出する。

(3) 夏期休業中 履修学生は、実習を行い、実習修了証明書および報告書・評価書（いずれも学部で定めた様式による）を終了後 1 週間以内に教務係に提出する。

(4) 1 月 履修学生は、報告会で報告する。

3. 学習の到達目標： 自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験または震災復興等ボランティア体験を行うことによって、職業適性や資質を正しく認識し、高い意識のもとで主体的な職業選択ができるようにする。また、社会体験を大学での勉強にフィードバックすることで、学生生活をより実りあるものとする。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 受入企業等での実習、ボランティア活動
3. 受入企業等での実習、ボランティア活動
4. 受入企業等での実習、ボランティア活動
5. 受入企業等での実習、ボランティア活動
6. 受入企業等での実習、ボランティア活動
7. 受入企業等での実習、ボランティア活動
8. 受入企業等での実習、ボランティア活動
9. 受入企業等での実習、ボランティア活動
10. 受入企業等での実習、ボランティア活動
11. 受入企業等での実習、ボランティア活動
12. 受入企業等での実習、ボランティア活動
13. 受入企業等での実習、ボランティア活動
14. 受入企業等での実習、ボランティア活動
15. 事後報告会での発表

5. 成績評価方法： (1) ガイダンスへの出席, (2) 実習修了証明書の提出, (3) 実習報告書・評価書の提出, (4) 事後報告会での発表

6. 教科書および参考書：なし

7. 授業時間外学習：この科目は、受入企業等での履修学生の実習、あるいは震災復興等ボランティア活動を中心としている。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

○

9. その他：

(1) 選択必修科目としては 2 単位を上限とする。(2) 就業体験は、夏期休業中に行うことを奨励する。(3) インターンシップという名称でなくとも、実質それに相当すると見なされる就業体験については、単位取得の対象として認めるので、担当教員に相談すること（福祉・医療施設での実習など）。(4) 履修を希望する者はできるだけ早く教務係に連絡して、ガイダンスや履修方法について指示を仰ぐこと。